

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

有限会社プログレ総合研究所

②事業者情報

名称：かしの木ケアセンター	種別：施設入所支援
代表者氏名：福應 渉	定員(利用人数)：50 名
所在地：〒 354-0044 埼玉県入間郡三芳北永井381-3	TEL 049-258-0515

③評価実施期間

令和 5 年 8 月 1 日 (契約日) ~ 令和 6 年 4 月 1 日 (評価結果確定日)

④総評

◇特に評価の高い点

利用者の意思・希望を日々の関わりから都度捉え、支援に反映させている
 日々の関りの中で得た利用者の意思・希望については、個別支援計画策定会議につなぎ、支援に反映させることで意思決定支援・自立支援が具現化されている。ユニットケアを住まいではなく活動のグループで分けており、利用者は、基本生産活動・リハビリ・余暇活動等希望するユニットに所属するが、その日の状態で他のユニット活動にも参加できる。

情報共有の積み重ねで利用者に応じたコミュニケーション手段の確保と支援をしている
 利用者個人々の障害に合わせた身体介護の提供やリハビリの実践、コミュニケーションツールを活用した意思伝達等、より生活しやすい環境の整備が実践されている。言語でのコミュニケーションが難しい場合には、分かりやすい言葉を選ぶ、声の音量をイラスト付きのボードに示す等の工夫をし、その時の利用者の反応や気づきを業務連絡ノートで共有することで、どの職員でも対応できるように努めている。

支援方法にずれが出ないよう、新人教育には指導者用手引きを使用している
 障害の状態に応じた適切な支援をどの職員も実践できるよう、新人教育のカリキュラムを作り、教える職員によるずれを防ぐために指導者用の手引きも作成している。この手引きには、初めて新人教育を担当した時に困った事など職員の声も反映されている。具体的な研修スケジュールを新人職員に示し、指導者と新人職員の目的意識の統一を図っている。

◇特にコメントを要する点

コロナ禍で生まれた良いものを活かしつつの、制限解除を期待する
 コロナ禍では、人との接触に制限が生じ、施設内行事や地域行事の参加などは難しい状況であった。しかし、そのような中でも「飾りつけ部」のように新たに誕生した活動もあり、利用者の生活に潤いを加えている。もとの生活に戻すという検討には、コロナ禍で生まれた良いもの、良い視点が活かされることを期待する。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

今回、2回目の第三者評価受審でしたが、改めて丁寧な調査、聴取をして頂き大変感謝しております。今回は①利用者の意思・希望を日々の関わりから、支援に反映させている点、②情報共有の積み重ねで利用者に応じたコミュニケーション手段の確保と支援をしている点、③支援方法にずれが出ないよう、新人教育には指導者用手引きを使用している点において高く評価して頂きました。また、コロナ禍では、人との接触到に制限が生じ、施設内行事や地域行事の参加などは難しい状況の中、「飾りつけ部」のように新たに誕生した活動にも「利用者の生活に潤いを加えている」と評価頂き、苦しい中でも職員が創意工夫をしてきた事が報われた様に思います。そして、もとの生活に戻すという検討には、コロナ禍で生まれた良いもの、良い視点が活かされる事を期待すると助言頂きました。脱コロナという大切な時期に入っておりますが、今回の助言を大切に施設運営に努めたいと考えております。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり